

井原建設 第1号

国土交通省 道路局長 殿

平成20年10月10日

井原市長 瀧 本 豊 文



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平素より、本市の道路行政について、多大のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岡山県 井原市

- ・ 井原市の道路改良率は平成19年4月1日現在で 37. 02%となっていて、岡山県平均の 44. 7%、全国平均の 57. 5%に比較して大きく劣っている。市民からの要望も道路の改良、修繕が多く、すべてには対応できていない状況である。
- ・ 国道・県道の維持管理の強化
- ・ 生活道路の維持・補修について国・県の支援強化
- ・ 点在する未改良区間の早期の改良実現（2車線にこだわらず、局部改良や待避所設置）

②-1 地域の現状と抱える課題

岡山県 井原市

○ 現状

- ・ 主要な道路としては、主要地方道笠岡井原線が山陽自動車道の笠岡インターチェンジに接続しています。また、国道313号が本市を經由して、福山市と鳥取県北栄町を結び、国道486号が本市を經由して、総社市と東広島市を結んでいます。

県道では、主要地方道の井原福山港線、笠岡井原線、笠岡美星線、芳井油木線、美星高山市線、倉敷成羽線が地域の幹線道路としての役割を担っています。それらを13路線の一般県道が有機的に接続しています。

○ 課題

- ・ 南北軸、東西軸となる国道、県道の広域幹線道路の未整備区間を整備し、都市間、地域間のネットワークの構築を図る。
- ・ 通学路に指定されている県道や、生活道路として利用されている市道等においては、歩行者と自動車の共存を図りながら、安全で安心して利用できるようにする必要がある。
- ・ 通学路について歩道の未整備区間を抱える新興住宅地（総区画数202）については、児童の危険度が高いため、通学に市内循環バス、及び市独自のバスを運行してる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

岡山県 井原市

- ・ 広域交流や産業活動を支える基盤として、広域幹線道路網の整備
- ・ 誰もが暮らしやすい地域を実現するために、生活道路の整備
- ・ 中山間地域における日常生活の利便性向上のための地方道の効率的、効果的な改良整備

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

岡山県 井原市

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・ 地域活力の向上 ・ 総合的な交通安全対策 ・ 歩行者にやさしい社会の構築	・ 地域間連絡道路の整備 (市道志村百町線の早期完成を図る) ・ 国道313号の整備 (芳井地区) ・ 県道芳井油木線の整備 (芳井町川相地区) ・ 市内幹線及び通学道における自歩道の整備	・ 地域間の格差解消や新市の一体感の醸成を図る。 ・ 歩行者の安全確保と視距改良による交通障害の解消 ・ 大型車両と観光客の分離による相互の安全を確保する。 ・ 自歩道整備により、歩行者の安全を確保する。	